

生活

災害与谣言 災害とデマ

最近我们经常听到“谣言”和“假新闻”这两个词。简而言之，就是那种不符合事实的消息和流言蜚语，不知大家看到或听到过没有。

例如，“受暴雨严重影响，〇〇町(镇)正在呼吁提供救灾物资。请将物资送到〇〇町(镇)政府”。如果在微信上收到此类消息，大家会怎么做呢？

有些人可能会想，“这可了不得。人家遇到了困难，得马上帮他们一把”。实际上这种情况也曾有发生，很多人看到这个消息后，迅速传播开来，导致大量物资被运送到〇〇町(镇)政府，导致了严重的后果。

后来才知道这是个谣言，此外还有很多各种各样的谣言。

大家可能在新冠病毒流行期间听说过一些流传甚广的有关生活信息的谣言吧，什么“喝热水可以预防新冠”、“新冠病毒是一种生物武器”、“以后再也买不到卫生纸了”等等。此外，还在有关国际形势新闻中，谣传说“教皇支持特朗普总统”、“乌克兰发生的大屠杀是自编自演的”等假新闻也一时成了话题。



当然，重要的是平时不要被这些谣言和假新闻所误导，尤其是在灾害发生时需要特别小心。

据说在发生灾害时，谣言会急剧增加，像 1923 年的关东大地震、2011 年的东日本大地震以及最近接连发生的暴雨

「デマ」とか「フェイクニュース」ということばを最近よく耳にします。要するに、事実ではない情報、噂話の類ですが、皆さんは実際に見聞きしたことがありますか。

例えば「大雨で被害が大きかった〇〇町が支援物資の提供を呼びかけています。物資の送り先は〇〇町役場まで。」このような情報が微信で届いたら、皆さんならどうしますか。



「大変だ。困っている人がいるのなら助けてあげなくちゃ。」そう思う人がいるかもしれません。実際にこのような情報を見て、多くの人が急いで拡散したために、〇〇町役場に大量の物資が届いてしまって大変なことになった、という事態が起きたそうです。

これは後からデマだとわかりましたが、実はデマにもいろいろあります。

コロナ禍でたくさん出回った生活情報に関するデマ、例えば、「お湯を飲むとコロナを予防できる」「新型コロナウイルスは生物兵器である」「この先とあれっとペーパーが手に入らなくなる」等は皆さんもいくつか聞いたことがあるのではないのでしょうか。さらに、国際情勢に関するニュースでも、例えば「ローマ法王がトランプ大統領を支持している」「ウクライナで起きた虐殺は自作自演だ」といったフェイクニュースが話題になりました。

もちろん普段からこういったデマやフェイクニュースに惑わされないようにするのは重要ですが、とくに災害時には注意が必要です。

災害等、灾难发生时和发生后，人们会感到不安，情绪焦躁。况且在信息缺乏的情况下，一些真假难辨的消息会迅速传播开来。事实上，在关东大地震之后，就传出了“朝鲜人要发起暴动”等谣言，并发生了几起朝鲜人被杀害的悲惨事件。当时，一些中国人和社会主义分子也成了牺牲品。

如今，由于很多人使用社交网站（SNS），传播的速度和规模则不知超出多少倍。有数据显示，谣言会比正确的信息更容易传播。特别是在灾难发生时，会流传一些来自误解或道听途说的种种消息，诸如“还会有余震・出现了盗窃团伙・大家都来资助灾民吧”等等。如上例所示，这些往往是带有善意的传播，但也有出于恶意的虚假信息，例如熊本地震发生时就传出“狮子从动物园跑出来了”，传送这些谣言的人有的是觉得好玩，有的则是为了提醒人们注意。



那么，我们应该如何辨别这些信息的真假呢？首先，需要确认信息的来源。如果信息是由政府或地方政府等公共机关发布的，可信度会比较高。此外，最好查看多个信息来源，以确保该信息不仅是您自己看到的文章，而且是其它新闻媒体也在传播的信息。如今，伪造图像和深度伪造（将两个图像或视频的一部分组合在一起，创建一个与原始视频不同的视频的技术）的手段越来越巧妙，在外行人眼里很难辨别出图像或视频是假的还是真的。我们不要把所看到的信息、图片和视频都

古くは 1923 年の関東大震災、また 2011 年の東日本大震災、最近多発している豪雨災害など、災害時にはデマが急増すると言われています。災害時・災害後には人々は不安を感じ、興奮状態にあります。さらに情報不足という状況下では、真偽のわからない情報が瞬く間に広がります。実際、関東大震災の直後には「朝鮮人が暴動を起こす」といったデマが流れ、多くの朝鮮人が殺されるという悲惨な出来事が起こりました。その時には中国人や社会主義者も犠牲になりました。

とくに現代は SNS を多くの人々が利用しているため拡散の速度も規模もけた違いになっています。デマの方が正しい情報よりも拡散されやすいというデータもあるそうです。とくに災害時には、誤解や伝聞によって「余震がある・窃盗団が発生・救済物資を届けよう」等のいろいろな情報が流れます。これらは上の例のように、善意から拡散されるという傾向があります。また、悪意による情報、例えば熊本地震の時の「ライオンが動物園から逃げた」といった偽情報もあり、面白半分に拡散する人もいれば、注意喚起のために拡散する人もいます。

私たちは、これらの情報の真偽をどのように見分ければよいでしょう。まず情報元を確認する必要があります。政府や自治体などの公的機関が出している情報であれば、比較的信頼度は高いと言えるでしょう。また、自分が見た記事だけではなく他の報道機関も流している情報なのか、複数の情報源を確認したほうが確実です。今はフェイク画像やディープフェイク（2つの画像や動画の一部を結合させ、元とは異なる動画を作成する技術）がどんどん高度になっており、素人目にはその画像・動画が偽物なのか本物なのか見分けが付きません。

私たちは、目にした情報や画像・動画をすぐ鵜呑みにするのではなく、情報源を確認する習慣を身に付

信以为真，要养成核实信息来源的习惯。
特别是在灾难发生时，必须保持头脑冷静，要退一步想一想，千万不要轻易地把收到的消息传播出去。

ける必要があります。とくに、災害時には、受け取った情報を安易に拡散するのではなく、一歩立ち止まる冷静さが重要です。(O)